

Tokyo  
Steel-rib  
Fabricating  
Association

Report

東構協

<http://www.tsfa.jp/>

2023 年 (令和 5 年)

新春号

[第 32 号]

発行 東京鉄構工業協同組合  
〒 104 東京都中央区八丁堀 3-9-5 KSビル6階  
- 0032 TEL : 03 (5566) 1595  
FAX : 03 (5566) 1597

▶ 築地本願寺



## 2023 年 粘り強く 理事長 吉岡 晋吾

新年あけましておめでとうございます。

2022 年 日本国内では、徐々にコロナショック前の生活様式に戻り、全国旅行支援や対面サービスにより個人消費や水際対策緩和によるインバウンド需要が増加してきました。第 8 波の感染拡大も懸念されますが、行動制限が課されないうえ、感染対策も進展しており、景気も少しずつではありますが回復傾向にあるように思われます。

また、海外では昨年、ロシアとウクライナによる戦争が勃発しました。長期戦が予想され、輸入に頼っている日本にとって食品やエネルギー分野等での値上がり懸念されています。

鉄骨業界も今年度上期の推定鉄骨需

要量は前年度同期よりも多く、24 年から 26 年にピークを迎えるようですが、引き続き価格上昇に適用した経営体制を整えるべく自動努力と粘り強い交渉が必要になってくるでしょう。それらの情報を SNS・リモート等で共有し、鉄骨業界が一致団結することが重要になります。

東京鉄構工業協同組合は今年の 3 月で創立 50 周年を迎えます。創立以来多くの組合員の皆さんと関係団体の皆様のご協力のもとに今、現在があります。

これまで適正品質・適正価格を目標に各種講習会や勉強会の開催、後継経営者や管理職の教育と外国人研修制度の斡旋のほか、女性従業員の積極的な採用、事業継続計画 (BCP) 勉強会等を行い、共通認識の再確認を図り、最

新情報を発信してまいりました。今後も鉄骨業界の知名度を上げるべく、PR 等これからも皆様のご協力を頂きながら、組合のさらなる発展と進化のために粘り強く頑張っていきたいと思ひます。

私事ですが、寒さも増してくると銭湯に行くのが楽しみで、週一回のペースで通っています。心と体がリフレッシュされて最高の気分になります。サウナは少し苦手ですが、湯船に浸かり水風呂に入り、露天風呂に入ってを繰り返しているとずっと入っていられます。まさに至福のひと時です。

2023 年は、新工法等の提案や現状の資格のステップアップも含めて検証を重ねていくための粘り強い努力をしていく年になります。業界的にも個人的にもプレッシャーがかかる一年になると思ひます。そのため心身共に健康であるよう精進したいと考えています。これからも組合活動へのご支援をお願いいたします。

(吉岡工業社長)

## 組合理事役員

年頭のあいさつ

### やっぱりキツイよコロナ感染



副理事長

Mグレード部会会長

前田 茂昭

感染対策はするけどもう実際のところただの風邪でしょ。私も内心そんな風に思っていました。自分が感染するまでは。

弊社内では一昨年4月頃に初のコロナ陽性者が発生。本人はほとんど症状もなく、熱が出たので念のため検査を受けたところ陽性発覚で無症状というよくあるパターン。その後、第7波と共に社内のあちこちで濃厚接触が発生。陽性者は意外と出なかった。ただ、大人数の家族だと順繰りに感染してしまうため、本人は未感染ながら1ヵ月近く自宅待機となってしまったケースもあった。そんな状況でも個人的には対岸の風扱い。まあ程々に自粛はしていたが、感染対策はおざなりになりつつあった。濃厚接触になっても意外と感染しないじゃん。という印象だった。

考えが変わったのが昨年7月。期末試験中の中3の息子がやけに具合悪くしている。その週末には高熱を出してしまい、区の休日診療所に駆け込むことになった。家族3人で車に乗り込み、私は診療所の駐車場で待機。妻は息子に付き添った。待機中に診療所を出入りする職員の姿がたまに見えたが、全員防護服の嚴重装備。これはちょっとまずいかも。。。結果はクロ。抗原検査であっさり陽性だった。妻によると同じような患者が4組ほど居て全員陽性だったようだ。感染力凄そうだしこれはまずいかも。とりあえず家庭内隔離と消毒を徹底すれば何とか

なるんじゃないか？と思ったが甘かった。翌日には妻が体調を崩してほどなく陽性。息子も妻も咳が酷くキツそうだ。やっぱりホテルにでも避難すればよかったと思ったが後の祭り。その2日後には私が発熱。発熱外来は混雑を極め、行きつけのクリニックは朝一電話が繋がらないレベルだった。もちろん私もあっさり陽性。まあ会社でも家庭でもトップバッターにならなかつただけ良しとしよう。そんな事を言われてられたのも感染2日目ぐらいまで。私の熱はとくに下がったものの、3日目ぐらいからは有り得ないほどの酷い咳と倦怠感。結局この咳は10日以上治まらず、感染者の待機期間10日を過ぎても出社できないレベル。感染14日目にどうしても外せない現場確認がありようやく出社した次第だった。時期はちょうど第7波が爆発中の頃。その後も行く先々で小さな咳も出ないように気を遣ってしまい、ほんと気疲れする日々を過ごしました。

今のコロナは死ぬようなことは無いんだろうけどやっぱりキツイです。私の弟は毛も抜けました（まあまあ復活しましたが）。年末年始を迎え今年は色々な集まりも増えてきましたが、皆さん少しだけ慎重にいきましょう。感染から半年近くたって、そろそろ私の抗体も消えてしまってるんじゃないかと実は不安な今日この頃です。

(前田製作所社長)

## 花粉症が治った話



副理事長

関東支部運営委員会担当

松田 一郎

お正月は普通おめでたいもの。しかし私にとっては同時に「長い憂鬱な季節」の幕開けでもある。

中学の頃からなので40年ほど酷い

花粉症でずっと苦しんで来た。主な症状はくしゃみ鼻水が止まらない。鼻はかみすぎでいつもカサカサ。鼻炎用の薬は飲むと喉が乾いて嫌なのと、切ったり焼いたり手術は怖いので無理。その代わりマスクや花粉症用メガネはもちろん、試した対策は数知れず。思い出せるだけ以下に列挙する。

- ・帽子や表面がすべすべした衣類を着用・帰宅時に体全体をよく払ってから入室・うがい、手洗い、洗顔、或いはいっそシャワー・窓は常に締め切り、風呂場の換気扇は常時稼働・HEPAフィルターの空気清浄器を家中で常時稼働・洗濯物の室内干し・目薬、点鼻薬、塗り薬・牛乳で目を洗う・生理食塩水を使った鼻うがい・カテキンが入った飲み物を摂る・とうがらしや香辛料を控える・グルテンフリー。

多少の症状緩和に役立った対策はあれど、結局どれも完治には至らず。

そもそも花粉症とは一体なんなの？「杉やヒノキなどの花粉が原因で鼻水などのアレルギー症状を起こす病気」と言われても、杉は太古からあるのだしどうも釈然としない。40年前頃は10%程だったのに、現在日本人は半分近くが杉花粉症なのだそう。みんなが長年困っているもはや国民病なのになぜか決定的な解決法が登場しない。持病と諦めていたのだが、去年あっけなく治った。

その対策は「リノール酸（オメガ6）を含む食品を少なくし、 $\alpha$ リノレン酸（オメガ3）を含む食品を多くする」たったこれだけ。40年も苦しんだ大問題が簡単に解決し、感動を通り越して拍子抜けだ。2週間ほど食事の脂肪酸を管理すると体質改善になるらしく、マスク無しでも全然大丈夫！但し食事管理しないと元に戻る。今年の正月は何もしないで試してみたらやはりムズムズが始まった。慌てて管理を再開するとやはり2週間ほどで治った。実際にやった行動は、普通のスーパーで売っている「えごま油」などオ

メガ3系の食用油（700円／100g程）を小さじ1杯毎食時に摂り、天ぷらや唐揚げなどを避けるようにしていただけないので誰でも簡単に出来る。

インターネットで「リノール酸低減式療法」と調べると、花粉症と脂肪酸の関係を解説している資料や本が多くは無いがある。ここでは割愛するが、解説されているその原理は十分納得ができるものであった。治った人も少なくないようだ。この対策が何故一般的に広まっていないのか不思議でならない。多くの人がこれを試してもらいたい。厚生省も当然検証をすべきだろう。

花粉症の薬を保険適用外にするしないの議論以前に、この対策は医療も薬も国費も全て要らない。副作用も一切無しといい事づくめだ。むしろ国民病的花粉症の本当の原因は、いつまでも目を醒ましたくない利害関係者か？と穿った見方まで先走って浮かんでしまった。（松田鋼業社長）

## どうなる 2023 年



理事  
総務・広報委員長  
協力会担当

森 芳恒

今年はどうのような一年になるのでしょうか。コロナが落ち着けば景気も良くなると言われ3年がたち、予防接種が2回の予定から4回5回と増え、ガソリンが補助金を入れて160円で頭打

ち、電気代が2倍から会社によっては3倍になり鋼材も値上げが止まりません。すべてのものが値上がり、また値上げされています。そんな中変わらないのが私たちの給料です。鉄骨工事は資材上昇分だけ上乗せされ加工単価は据え置きで、これでは賃金が上がるわけもなく、より苦しい生活が待っているだけです。もちろん鉄骨業界だけではなく同じ様な状況に置かれた業界はたくさんありますし、われわれファミリーケーターだけが抜け出すのは不可能でしょう。ただ何もしなければ変わらないのは間違いありません。

私は、海外旅行に毎月のように出かけていましたが、2019年にカナダのバンクーバーへ行き治安もよく大変きれいで物価もさして高くない大変住みやすい感じの印象でした。3年ぶりに2022年の10月に再訪してみると町の美しさはそのままに円安の影響もありますが、物価だけ2倍になっていました。日本の有名ラーメン店が900円から1900円、さしておいしくもないファミレスの朝食が1200円から2500円、きれいな植物園の入場料が1200円から3500円になっていました（1カナダドル90円から120円）これだけで



はただ行きにくいところには感じませんが、給料が上がっていました。最低賃金こそ1460円ですが、それでは人が集まらず日本からワーキングホリデーで来ている学生が居酒屋のバイトで最低時給2000円で仕事はいくらでもありますし、美容師など手に職がある人は月給50万円以上でした。物価が2倍でも給料が2倍になればゆとりが生まれコロナも落ち着き、ゆとりが生まれている印象でした。

2023年 このままでは労働力の海外流出が激しくなってしまうと思心配です。少なくとも工事代金の値上げによる賃金アップを実行することが私の肌で感じた目標です。

（日本鉄構建設工業社長）

## 「環境整備」



理事  
教育・技術委員長  
青年経営者委員会会長

池田 和隆

弊社、5年前から、終業前の17時から15分間を環境整備の時間にあてております。要因はいくつかあります。

要因1：群馬のHグレード（鐵建）に社員と工場見学に行ったときに、鉄骨屋なのか？と思うくらいきれいな工場で驚愕し、弊社の工場も・・・奮起したこと。要因2：工場が整備されてくると効率が上がるとの考えから。要因3：始業時に自分の持ち場や、机が

## 吉岡理事長ら三役は留任へ

### 第36回通常総会を開く

当組合は5月25日、東京・千代田区のアルカディア市ケ谷で第36回通常総会を開いた。任期満了に伴う役員改選で新理事に円谷哲氏（アイ・テッ

ク常務取締役東京支社長）、谷村朋昭氏（谷村製作所社長）を選出、総会後の理事会で吉岡理事長ら三役の留任を決めた。

今年度事業計画では、未来を担う若い経営者の意欲を高める取り組みなど10項目の重点事業に取り組む。



きれいだモチベーションがアップするなど、以上のことから工場の製造スタッフのみならず、設計や品質管理、工事部メンバーも自分のデスク周り、共用部（廊下、階段など）を、毎日かさず環境整備しています。

環境整備が定着してくると、製品検査にいらっしゃったお客様からも「池田鉄工さんの工場きれいだね、トイレもきれいだね」と言われるようになり、「きれいな工場できれいな製品を」をモットーに取り組んでおります。

環境整備の弊社定義：仕事をやりやすくするために、社内の『環境』を『整』え、そして、必要なものがすぐに取り出せるようにして、仕事に『備』える（準備する）。身の回りを優先、その次に、共用部を清掃する。常にキレイを保つことで、心にゆとりが生まれる。

この取り組みを始めてから、社員自ら、不要なものを進んで処分、工場のレイアウトを工夫し、見栄えもきれいに使いやすい置き方を主体的に考えるようになったことも、社内で良い影響が出ています。



環境整備をすることで、頭の中が整理され、気持ちが穏やかになる効果があるなど、良いこともあります。継続は力なりといいますが、全員が共通して継続できること、「環境整備」をこれからも続けていき、きれいな鉄骨屋を目指していきたいと思っております。

(池田鉄工社長)

## 1年が経つのは早いもので



理事

椎名 輝雄

「子供時代に時間が経つのが遅く感じた」経験を持つのは私だけではないはず。誕生日やクリスマスが待ち遠しく、されどもなかなかその日がやって来ず、じれったい思いをしたものです。ところが、大人になるにつれ時間の経過が早く感じられるようになってきました。

少々調べてみますと（ググってみました）、こうした不思議な現象を心理学的に説明する法則があるそうです。19世紀のフランスの哲学者ポール・ジャネは、「主観的に記憶される年月の長さは、年少者にはより長く、年長者には短く感じる」との説を提唱し、これを彼の名にちなんで「ジャネーの

法則」と呼ぶとのことでした。

言い換えると、「心理的に感じる年月の長さは年齢に反比例する」とした説で、「60歳ちょうどの人にとって1年は人生の60分の1であり、6歳ちょうどの子供にとり1年は6分の1。よって歳をとるほど1年の重みが減り、主観的に感じる年月の長さは歳をとるほど短くなる」（用語検索サイト『コトバンク』の『知恵蔵mini「ジャネの法則」の解説』より引用）という考え方が示されたわけです。

『リポート東構協』への寄稿文を書き上げる年の瀬にはいたる所で誰ともなく「今年ももう終わり」との感慨に耽る姿が見られます。かく言うわたし自身、年を取るごとにことのほか1年が早く過ぎ行くように感じられ、体的には1年365日（うるう年は366日）のうち100日ほどしか経っていないような気持ちを抱えながら、気が付くと知人相手に「今年ももう終わりですね」とつぶやいていました。

さて、本稿が読まれる頃には年が改まり、2023年がスタートしています。元旦を迎えて1年の計を練りに練っているうちに早くも年の瀬になっていくということがないよう、スピード感をもって物事を進める年にしたい所存でして、皆様におかれましては引き続きお付き合いのほどよろしく願いいたします。

(叶産業副社長)

## ビルトHメーカーを工場見学

### 東構塾

東構塾（塾長＝青野弘毅・元那須ストラクチャー工業）は10月29日、研修行事の一環として埼玉県羽生市のビルトHメーカー、秋園鋼板加工所（外園秋一郎社長）の工場見学を訪れ、ビルトHの開先加工、組立、溶接、仕上げ矯正など基本的な製作工程などを学

んだ。塾生ら計24人が参加した。

工場見学の前に青野塾長が「建築鉄骨に欠かせない製品であるビルトHの製作工程、その溶接技術などを実際に目で確かめ、理解を深め、日常の業務に役立ててほしい」とあいさつを述べた。

塾生はこの後、ビルトHの製作工程を同社スタッフらの案内で見学した。見学後には鋼材のトレーサビリティ、溶接の手順と変形、再生フラックス、

歪矯正への対応など活発な質疑が出された。



## 人生折り返し地点



理事

金本 貴範

昨年で 40 歳を迎えました。就職、結婚、子育てを経験してきましたが、後残された人生の工程は引退、介護、老後生活といったところでしょうか。

昨年全青会の役員もしていることから出張が多く、月の半分も会社にいないことがありました。それでも会社が回っているのは社員のおかげです。感謝の言葉に尽きません。前厄なので厄払いをしたので、今日まで大きな出来事は起きていませんが、飲みすぎ食べ過ぎで少し肥えてしまいました。筋肉量も少なくなり基礎代謝も上がらないことから勝手に肥えます。疲れが取れません。

今年は本厄なのできちんとお祓いしたいと思っています。よく、先輩から【40 歳過ぎたらガクッとくるよ】とお話して頂いたことが多かったのですが 40 歳の誕生日を過ぎたあたりから露骨に感じるようになりました。お付き合いが多いので、自宅の晩酌は一切しないようにしています。会食の時などは人よりも多くのお酒をたしなむ方だと思います。しかしながら最近飲量に限界が見えてくることが多いようです。当然、二日酔いも午前中で消化していたものが午後にも残ることもしばしばあります。

お付き合いでゴルフをすることも多いですが、残り 3 ホールから足腰に衰えを感じて呼吸を荒くしながらプレーしています。それでアンダーパーを逃すのも年数回あります。40 歳は江戸時代では亡くなる平均寿命の年だそうです。そう考えると人生のピークは 40 歳かもしれません。自分で運転して飛行機乗って旅行などして歩くこ

とが出来るのは 60 歳～70 歳とすると逆算してあと 30 年程しかありません。30 年では文明は変わらないので、これからの人生設計をたて直す必要があると考えます。

車で 1 年かけて日本一周と世界一周旅行とアルパトロスをしたことが私の夢です。アルパトロスとはあと 5 年位しかチャンスがないと考えています。

いつの時代の人生もどの業種も【設計】と【見直し】が大事だと痛感しております。男性の平均寿命が約 82 歳ですが後 30 年すると 90 歳以上になっていますと予測されます。そう考えると国が提唱している人生 100 年時代を考えると折り返し地点は後 10 年先かもしれません(笑)。(日伸鉄工建設社長)

## 中小企業における SDGs の必要性について



理事

小室 健太

先日、東京ビッグサイトで開催された SDGs 展に行ってきました。そこでは色々な取り組みが紹介されており、非常に充実した時間を過ごすことができました。そもそもなぜ私が SDGs 展へ行ったのか。その理由をお話できればと思います。

・そもそも SDGs って？

そもそも SDGs って何？美味しいの？結論からいうと美味しいと思います。その理由は後ほどとして、SDGs を日本語訳すると「持続可能な開発目標」となります。何じゃそりゃ、という気もしますが、ウィキペディアから引用しますと、SDGs (エスディーゼーグズ) は、2015 年 9 月 25 日に国連総会で採択された、持続可能な開発のための 17 の国際目標であるとあります。簡単に言うと(間違っていたらごめんなさい)世界中の人々の困っているこ

とをまとめた物、と私は解釈しております。

・それってきれいごと？

思いました。いやいや、そんなことやっている暇はないよと。そういうことは余裕がある会社や大企業がやることであってうちには関係ないよ、と。思っていました私も。でもね、そうじゃないのです。

・社会課題の解決に取り組む事について

私はこの SDGs の取り組みはどの会社にもこれから必要なことだと感じています。特に今後の私達業界の課題として「価格競争」と「人材不足」この二点が大きな課題になるかと思えます。今めざましく変化していく社会で、新しい物事の判断基準、新しい価値観が生まれると考えています。それは、取引をする、もしくは入社をする会社が社会課題の解決に取り組んでいるか否か、ということです。この価値観は主に Z 世代と言われる若い世代から発信されると思っています。と言うか海外ではもう始まっています。だから、SDGs は美味しいと思っています。

・自分達の子供の未来のために

そして何よりも自分の子どもたちがこのまま地球に住み続けるためにはどうしたらいいのか、ボランティア、慈善事業だけでこの課題は解決できないと思っています。社会課題を自分たちの事業を通じて何か一つでも解決に貢献し、正しい利益を得て持続可能な会社とし、自分達の会社が存在し続ければ社会課題の解決ができる、子どもたちに誇れる、社会に必要とされる、そんな会社にしていきたいと私は考えています。まあ私子供いないのですけどね。

・小室鉄建何しているの

そんな偉そうなことを話しておいて、じゃあ小室は何しているんだよと、そうなりますよね。自社では今年から 5 年計画で「命を守る事業」を実現すべく動いています。私たちは住む家を作ることはできません。できるのは鉄

骨だけです。それでもできる社会貢献ってなんだろうと考えました。きっかけを話すと長くなりますが、東日本大震災でも証明されたように、残るのは鉄骨です。私たちは津波で自分の命を守るために、逃げる場所の無い、途上国に命を守る選択肢を提供しに行こうと思っています。実現するかどうかはわかりませんが、でも行動しないと何も始まらない、そんな持続可能な社会の実現を目指している会社、そういうほうが私はカッコいいと思うのです。私はカッコいい人を増やし、社会をより良い世界にしていきたいと思っています。(小室鉄建常務)

## 「前向きに！」



理事代理

村木 晃次

昨年はロシアのウクライナ進攻、年々悪化する異常気象、アメリカの好景気の影響などが重なり急激な円安への変動、そして今も続く物価高騰などいろいろなことがありました。

鉄を扱うわれわれの業界においても原材料である鉄鉱石や石炭そして燃料である原油の高騰により鋼材の値上がりが著しく営業職にある方は価格交渉に骨を折ったのではないかと思います。

そんな経済環境下でしたが、スポーツ界は比較的飛躍した年となりました。2月の北京冬季五輪で過去最多18個のメダルを獲得し、日本の野球界においては、ヤクルトの村上宗隆選手の日本人左打者によるシーズン最多記録56号本塁打の達成やエンゼルスの大谷翔平選手の活躍にもたくさんの夢ともらい勇気づけられました。また、サッカー界ではワールドカップでドイツとスペインに逆転勝ちし決勝トーナ

メントへ進み、日本のレベルが上がっていることを世界にアピールしました。ゴルフ界においてもLPGAのツアーで4月に畑岡奈沙が7月に古江彩佳が優勝し世界の中で活躍しました。

今年は、WBS（ワールド・ベースボール・クラシック）がコロナウィルス感染拡大の影響により第5回目の開催が3月に予定され、また9月にはフランスで開催されるラグビーワールドカップがあります。我々に感動とたくさんの勇気を与えるものと思います。本年は、私もスポーツ界のような若人が仕事で十二分に発揮し、夢ある業界に少しでも近づけるよう努力と指導など前を向いた1年にしたいと思います。

「やってみせて 言って聞かせてさせてみて 誉めてやらねば人は動かじ」

山本五十六

(アイ・テック建築事業部営業部長)

## 去年の夏は暑く熱い夏でした



理事代理

寺島 成美

6月の記録的な暑さもあり、6月下旬に梅雨明けが発表されました。1カ月早い夏の訪れと思っておりましたが、7月中旬からの連日の雨模様で最終的には過去にない大幅見直しとなり、7月下旬の梅雨明けとなった去年の夏でした。

夏と言えば高校野球。コロナ禍のため、一昨年までは規模を縮小しての応援でしたが、千葉県では昨年より声出しは禁止のままですが、プラスバンド、チアリーダーは解禁となりました。我が息子達、次男と昨年卒業した三男は共に高校球児でした。

在学中は同じ学校で1年生と3年生ということもあり、父母会で5年間お

世話になりました。

3年生の最後の夏、次男は怪我でベンチ入りを逃し、三男は一昨年の夏の県予選で無観客（父母のみ観戦）のマリンスタジアムで最後のバッターとなっていました。

2人とも現役時代は悔しい思いをしましたが、次男は昨年5月に公開された、母校をモデルにしたノンフィクション映画「二十歳のソウル」に野球部選手役で出演し（エキストラとも言いますが…）脚光を（家族から）浴びました。くしくも主人公の青年と同じ二十歳での銀幕デビューとなりました。（まばたきすると見逃します）

あらすじをご紹介します、興味のある方はDVDが発売されていますのでエンドロールで息子の名前を探してみてください。

『学校に代々受け継がれている応援曲「市船 soul」。その楽曲は、市船を勝利へ導く神応援曲としてSNS上で話題になった。そしてその名曲誕生の裏側には、20歳という若さで、短い人生の幕を閉じた青年がいた。仲間・恋人・家族そして音楽を愛し、また、沢山の人々から愛された青年。顧問の先生の呼びかけに、彼の告別式には164人の吹奏楽部員が集まった。これまで仲間の背中を押し続けてきた「市船 soul」がそこで奏でられ、青年を天国へと送り出した。彼が残した音楽は後輩たちに受け継がれ、いまでも彼の魂とともに生き続けている』

映画公開に合わせてように、三男と一緒にプレーしていた後輩達が、戦国千葉県大会を勝ち抜き、見事15年ぶりの優勝を達成しました。

千葉県大会の準決勝、決勝戦は流行り病の為、我々家族はテレビ応援となってしまう勝利の歓喜とは裏腹に少しの悔しさが残りました。

病気も治り、甲子園大会では25年ぶりの勝利、校歌斉唱を目標とする後輩部員達を聖地のアルプススタンドに駆けつけ、リアル応援をすることがで

きました。

「市船 soul」が流れ、チアが踊る中、手拍子（声だし禁止）での応援に応え、沖縄県代表との試合で5点のビハインドを跳ね返しての見事なサヨナラ勝ちとなり正真正銘の歓喜を体感させてもらいました。

本音を言えば息子達の現役時代に応援をしたかったのですが、同じユニフォームで躍動する後輩達の姿を見ると、様々な出会いや奇跡を感じずにはられませんでした。

暑く熱い夏に感謝です。

(川岸工業営業部長)

## 「継承」



理事  
共済事業担当

谷村 朋昭

当社は、千葉県船橋市豊富町に所在しており、2001年に、RグレードよりMグレードに昇格。2020年に、MグレードよりHグレードに昇格致しました。もともとは、東京都墨田区にて製作金物・付帯鉄骨を事業の柱として営んで、約85年が経ちました。

これまで、製作トン数よりも現場数をこなすことや大小問わず、難易度の高い物件等、受注することで経営していました。これも時代の流れなのか。社員の高齢化、働き方改革等の制限により土曜・日曜日、祝日の出勤、また夜な夜な残業マンパワーはいつまでも続かず、今日言われて明日までに納める「突貫製作」が出来なくなりました。

やはり、本体鉄骨を請け負うことで精一杯。先代より、受け継いだ製作金物を昨年に撤退致しました。とは言いながらも私で4代続いた会社。先代達にも感謝。製作金物事業から、鉄骨事業へと変わっていきませんが、会社を継承していく上では時代の流れに乗るこ

とが大切なのは・・・。私もこの業界に携わって約25年になり、東構協の理事に選ばれたことによって、今後の鉄骨製造業の発展のため、より一層お役に立ちたいと思います。

現在は物流倉庫やデータセンター等のRCS物件が主流で本体鉄骨を受け負っています。6年前からヤードを新設し、念願の1次加工ラインを導入することによって自社で工程管理がしやすくなり、数多くの物件を受注せずともターゲットを絞り2500トまで自社で請け負える体制になりました。また、積算ではより精度の良いデータを、作図では3Dでの確認等で納まりの検討が出来るようになり、製作や工事への引継ぎがより分かりやすく、作業効率も上がり、見える化した工程管理によって、休日もしっかり個人の予定を作れる会社になりました。

会社を継承していく上では人財の確保が一番大切なこと。社員ファーストな会社作りで若人を増やしつつ我社の技術も継承していきたいと考えています。今後とも、よろしく願い申し上げます。(谷村製作所社長)

## われわれ鉄骨ファブの役割



監事

中込 千秋

弊社では、設計図から積算する作業を、私と同世代で、鉄骨の製作や施工に長く携わってきた方に、依頼しています。ゼネコンさんから見積依頼を受け、設計図から鋼材を拾う作業をお願いしていますが、その方が、会うたびに、「最近の設計図は、未完成のものが多く、鋼材を拾う作業よりも、図面を読み解く作業に多くの時間がかかって大変だ」と言われます。また、「以前は、例え手書きでも、鉄骨の納まり

をしっかり理解している人が、検討尽くして作図してある図面が多く、積算に時間もかからなかったが、最近の設計図は、CADで綺麗な図面でも、納まっていない箇所や、食い違いの箇所、検討されておらず詳細が省略されているなど、『未完成』の状態で、見積依頼や発注されており、積算がまったく進まない」と言われることが多いです。

確かに、受注後、設計図では検討されておらず、施工図を提出してから初めて設計検討する項目が多く、承認までに時間がかかることが多いです。納期は決まっているので、私も、設計者が「はい、いいえ」で答えられるように、設計案をしっかり検討して質問するようにしなさいと、常々、施工図担当者に言っています。

また、最近、ゼネコンの監督さんより、「RC造はわかるけど、鉄骨造はあまりやったことがなく、納まりが複雑で、溶接などもあり、よくわからない」と言われることも多いです。胴縁・母屋や、鉄骨に工場先付けする下地など、それぞれの業者から、上がってくる要望を、調整して、納まり、強度、コストを検討して、決めていく作業が、熟練した技術が必要で、時間がかかっているように思えます。

今後、この傾向は、さらに進むと考えられますが、それをマイナスに捉えるのではなく、外壁、屋根など他工事のことや、強度設計を更に学び、工事全体を考え、総合的に仕様を決めていく力をつけていき、われわれ鉄骨ファブの役割を広げていきたいと考えています。BIMの導入で、ごまかしのきく2次元図面から、ごまかしのきかない3次元モデルでの設計に、置き換わりつつありますが、それも追い風しながら、下地などはもちろんのこと、建物の全ては、鉄骨に取りつきますので、鉄骨にからむところは全て自分たちで決めていこうと気概を持って取り組んでいきたいです。

(中込工業所社長)

# フェーズドアレイ超音波探傷法の研究について

加藤哲夫 (前事務局長)

## 1. はじめに

現在、当組合では埼玉県組合と協同でフェーズドアレイ超音波検査法(PA法)の研究會を立ち上げ、研究活動を行っている。

この研究會の目的は、建築鉄骨の製造工程の中で一般的に行われている溶接接合部の自主検査(品質管理)で使用される汎用型 UT 超音波探傷器による検査に変えて可搬式フェーズドアレイ探傷器 OmniScanSX(写真1.2))を使用した溶接部の検査(PA検査法)を行うことができないか研究するものである。

フェーズドアレイ探傷器が従来の探傷器と大きく異なるのは連続で40°から70°角度の範囲でスキャンでき、医療の分野使用されている妊婦のお腹の中の胎児の状態を見える化する検査と同様な原理で鉄骨溶接内部を検査するものである。また、探触子取り付け治具にエンコーダが取り付けられ、探触子の位置情報を1mm単位で取得することができる。取得した検査データ

は機器本体にデジタル記録され、そのデータを後から取り出して再現することも可能。検査データの記録、再現可能なことは従来の UT 超音波探傷器と異なり、検査データの信頼性を担保するものであり、画期的と言える。

当研究會は、このフェーズドアレイ超音波検査法(以下PA法)の特性に着目し、建築鉄骨生産工程の中でフェーズドアレイ超音波探傷器を活用して溶接接合部の自主検査することを目的として研究をスタートさせた。

この研究は、2017年度にスタートし現在も継続しており、2019年度から22年度まで全構協「鉄骨技術研究開発助成制度」で研究費の助成を受けている。

## 2. 研究會委員の構成について

研究會は当初、東京鉄構組合、埼玉県鉄構組合でスタートしたが、検証結果をより信頼性を確かなものにするために CIW 検査業協會の技術委員會委員の山本弘嗣、古舘岳実、鹿毛信次各氏に参加していただき、合同で研究を

進めてきた。また、監理者の立場から戸田建設の嶋徹、竹中工務店の三村麻里各氏にアドバイスを、学識経験者の立場から信州大学名誉教授の中込忠男氏の指導を受けている。

さらに、検査機器の製造メーカーの株式会社エビデン(旧オリンパス株式会社)から山本優一郎、松本龍一各氏がWGに参加して共同研究を進めている。

埼玉県鉄構組合から伊藤俊彦理事長、新井公太、渡辺修、上原延宏各氏、東京鉄構組合から吉岡晋吾理事長、角鹿勝保の各氏、加藤哲夫がこの研究會のWGの委員として参加している。

## 3. 検証方法について

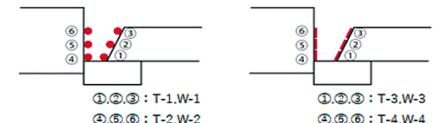
検証は、基本的に平板鋼鈑の接合、T接手の接合、ダイヤフラムと角形鋼管の接合の溶接部に予め人工欠陥を挿入して試験体(TP)を製作した。その試験体を従来の超音波探傷器と、フェーズドアレイ超音波探傷器でそれぞれ測定して、人工欠陥の傷がどのように見えるか比較検証した。

当初は人工欠陥に丸鋼やスチール鋼鈑を使用してテストピースを製作したが、傷の見え方に問題があり、最終的には溶融温度(3442℃)が高いタングステン鋼を使用してTPを再製作した。

平板鋼鈑のレ形突合せ溶接部、T接手溶接部、ダイヤフラムと角形鋼鈑溶接部の開先内壁側、と開先面側のルート部分、中間部分、表層部分にそれぞれ丸棒2.4mmと平板1mmタングステン鋼を挿入したTPを製作した。

## 4. 測定について

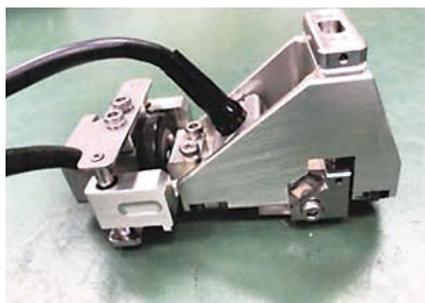
平板鋼の突合せ溶接部、ダイヤフラムと角形鋼管溶接の試験体をPA法と従来のUT法で測定をした。UT検査法による測定はCIWの技術委員會が、PA検査法による測定は株式會



▲図1 平板鋼突合せ溶接部開先内の人工欠陥挿入位置を示す



▲写真1 OmniScanSXの外観



▲写真2 探触子治具(エンコーダ付き)



▲写真3 人工欠陥(タングステン鋼)を埋め込みしたコラムの開先部(製作角鹿鉄工)

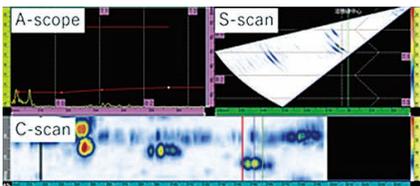
社エビデントの委員が担当した。PA 検査法で取得したデータは溶接部断面(S-scan)、溶接部平面図(C-scan)、波形データ(A-scope)で表示され、C-scan 上の画像から指示長さを読み取った。

5. 測定の結果について

取得した測定データは後に各委員が参加した WG (会議) の場でプロジェクターによって表示され、詳細に検討



▲写真4 PA法で測定



▲写真5 PA法で取得したデータの例

を行ったうえ最終検証結果を確認した。

結果はPA法での指示長さの測定はUTに比べ、全ての欠陥に対して安全側に(大きく)測定されたことを確認できた。(詳細データは鉄構技術2022年9月号参照)

6. まとめ

コロナ禍の中、研究会の進行は大変困難を極めたが、何とか平板の突合せ溶接部、コラム柱とダイアフラム溶接部をUT超音波探傷器とフェーズドアレイ探傷器による溶接部の比較検証を終えることができた。

当初は、人工欠陥を内包した試験体の製作はスムーズに行うことができると考えていたが、実際には大変困難であった。正確に人工欠陥を溶接内部に埋め込むことは大変難しく、試行錯誤であった。はじめは、丸鋼、鉄板を挿入して行ったが傷が正しく検出できず、試験体を再製作した。最終的にタンゲストン鋼を使用して試験体を製作した。

溶着金属内部の人工欠陥(傷)はUT

超音波探傷器と比較して良く見える(すべての欠陥に対して安全側に大きく測定された)ことが確認できた。

これらの検証結果から、当初の目的の溶接部の欠陥(傷)の検出においてUT検査法と比較してPA検査法は全く問題なく使用できることが確認できた。

7. 今後の課題

今後、コラムのR部をより容易に正確に測定できる探触子取り付け治具の開発(2022年度進行中)など、まだ多くの課題は残されている。したがってこれらの課題の解決するために研究会は引き続き継続していくことを確認した。

今後は、鉄骨加工工場で働く一般技能者の誰でもがPA超音波探傷器を使用して品質管理の工程で自主検査を行うことができるようにするには、検査結果報告書のフォーマット作成やPA探傷器を取り扱う技術者の資格等をどう位置付けするのか検討を行っていく必要がある。

## 地区会員名簿

東地区(25社) 地区会長 (株)角鹿鉄工 角鹿勝保

| No | 会社名                | グレード | No | 会社名         | グレード | No | 会社名        | グレード |
|----|--------------------|------|----|-------------|------|----|------------|------|
| 1  | 川岸工業株式会社           | H    | 10 | 中央鋼材株式会社    | M    | 19 | 小久保鉄工株式会社  | R    |
| 2  | 叶産業株式会社            | H    | 11 | 株式会社日伸鉄工建設  | M    | 20 | 株式会社長谷川工業  | 未    |
| 3  | 株式会社市川スチールエンジニアリング | H    | 12 | 中央ビルト工業株式会社 | M    | 21 | 有限会社矢萩鉄工   | 未    |
| 4  | 株式会社谷村製作所          | H    | 13 | 株式会社ヤマダ工業   | M    | 22 | 株式会社奥村鉄構   | 未    |
| 5  | 株式会社アイ・テック         | M    | 14 | 鈴木鉄工建設株式会社  | M    | 23 | 株式会社幸栄工業   | 未    |
| 6  | 株式会社前田製作所          | M    | 15 | 有限会社高市工業    | R    | 24 | 津覇車両工業株式会社 | 未    |
| 7  | 吉岡工業株式会社           | M    | 16 | 株式会社角鹿鉄工    | R    | 25 | 有限会社三鈴鉄工   | 未    |
| 8  | 株式会社中込工業所          | M    | 17 | 三進建鉄有限会社    | R    |    |            |      |
| 9  | 富士工業株式会社           | M    | 18 | 株式会社コイワ     | R    |    |            |      |

西地区(22社) 地区会長 (有)坂爪建鉄工業 坂爪幸男

| No | 会社名          | グレード | No | 会社名         | グレード | No | 会社名        | グレード |
|----|--------------|------|----|-------------|------|----|------------|------|
| 1  | 株式会社矢嶋       | H    | 9  | 井戸鉄建株式会社    | M    | 17 | 島崎工業株式会社   | R    |
| 2  | 東京建鉄株式会社     | H    | 10 | 株式会社かしや建設工業 | M    | 18 | 有限会社天野鉄工所  | R    |
| 3  | 松田鋼業株式会社     | H    | 11 | 株式会社三侑鉄工    | M    | 19 | 有限会社山上建設工業 | R    |
| 4  | 池田鉄工株式会社     | M    | 12 | 有限会社坂爪建鉄工業  | M    | 20 | 有限会社修和鉄工   | R    |
| 5  | 日本鉄構建設工業株式会社 | M    | 13 | 有限会社金谷鉄工所   | M    | 21 | 有限会社石川鉄工所  | R    |
| 6  | 小島工業株式会社     | M    | 14 | 株式会社小室鉄建    | M    | 22 | 株式会社帝都建工   | 未    |
| 7  | 株式会社鎌建工業     | M    | 15 | 株式会社ヤマトミ    | M    |    |            |      |
| 8  | 井上鉄工株式会社     | M    | 16 | 株式会社酒多鉄工所   | R    |    |            |      |

## 理事役員会報告

### ◆1月臨時理事会◆

□1月7日、組合事務局□

7日、ウェブで緊急理事会を開催した。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、賀詞交歓会等への対応などを協議するために開かれたもの。

当日までに蔓延防止措置がとられた場合は賀詞交歓会を中止とすることにした。また、2月に研修を兼ねた沖繩への出張理事会は延期とし、今後、改めて日程など調整していく。さらに、前理事長の「飯田歳樹氏を偲ぶ会」も継続審議とした。

### ◆1月理事会◆

□1月19日、組合事務局□

ウェブ併用で理事会を開催した。

吉岡理事長はあいさつで「飯田歳樹前理事長の訃報に衝撃を受け、未だにショックから覚めない状況にあるが、故人の遺志を継いで皆様と協力しながら組合活動を盛り上げていきたい。また、オミクロン株の感染拡大を受けて賀詞交歓会や2月の出張理事会は中止とした。自己管理のもとで感染対策に取り組んでほしい」と述べた。

### ◆2月理事会◆

□2月16日、組合事務局□

吉岡理事長は「オミクロン株の急激

な感染拡大で組合員の従業員や家族が感染あるいは濃厚接触者となるケースが報告されている。感染対策には十分に留意し対応してほしい」と述べた。

審議事項では5月に千代田区のアルカディア市ヶ谷で開催を予定している第36回通常総会に上程する定款変更案などについて協議した。

### ◆3月理事会◆

□3月16日、組合事務局□

吉岡理事長は「鋼材や副資材などの価格が上昇し、見積もりがこれに追いついていない状況が生じている。さらに、ウクライナ危機で世界的に資源の供給が滞り、足元では、今以上に厳しくなりつつある。課題も少なくないが、情報を共有し、仲間意識を持ってこの難局を乗り切ってほしい」と強調した。

審議事項では第36回通常総会に上程する2021年度事業計画・決算などについて協議した。

### ◆4月理事会◆

□4月19日、組合事務局□

審議事項では第36回通常総会に上程する2021年度事業報告、2022年度事業計画、定款変更などについて協議、当日の役割分担なども決定した。その一方で新型コロナウイルスの感染状況によっては開催場所や開催方法などの変更、規模縮小も視野に入れた具体的な対応策についても確認した。

### ◆5月理事会◆

□5月25日、アルカディア市ヶ谷□

吉岡理事長はあいさつのなかで、新型コロナウイルス感染防止への対応について「会議室の亚克力板は撤去することにした。ただ、利用者に手指消毒や検温の実施、マスクの着用を求め、リモートは継続実施していく」との考えを示した。また、2022年度鉄骨製作管理技術者受験準備講習会の開催日程などを審議、9月23、24両日に開催予定とした。

### ◆6月理事会◆

□6月22日、組合事務局□

理事会では全構協、同関東支部、同運営委員会のほか、東構協各委員会、東構塾、ウェブサイト委員会など当面の行事日程を含み活動状況を報告。また、2022年度鉄骨製作管理技術者受験準備講習会」の定員数や概要について協議した。また、年内の理事会開催の日程に関しても取り決めたが、このうち11月は出張理事会とした。場所や概要などは今後、詰めていく。

### ◆7月理事会◆

□7月21日、組合事務局□

吉岡理事長は「コロナ感染者数が急増しており、職場や家族での陽性者や濃厚接触者の話も以前より多く聞かれるようになった。感染対策には十分に留意してほしい」と強調した。

## 管理技術者試験準備講習会 1級 146人、2級 100人が受講

当組合は9月23、24の両日、千代田区の連合会館で鉄骨製作管理技術者受験準備講習会を開催した。

同1級が146人、同2級が100人の計246人が受講した。

同講習会は10月22日に鉄骨技術者教育センターの主催のもと、全国一斉に実施される本試験のための準備講習

会。講師は、鉄骨製作管理技術者1級が羽石良一氏（建築鉄骨構造技術支援協会専務理事）、同2級は大塚英郎氏（大林組東京本店建築事業部品質管理部上級主席技師）が担当した。午前中はテキストとOHPを使用しながら建築法規一般、鉄骨構造、品質管理、鉄骨加工、安全管理など試験問題の概要や要点などを解説、午後からは模擬試験を実施した。今年も新型コロナウイルス感染防止対策として会場の受付で

は検温やマスク着用義務付け、消毒液の設置などを実施した。



理事会では 2022 年度鉄骨製作管理技術者受験準備講習会の申込者数を報告した。また、理事役員の委員会など担当役割について確認、さらに 11 月の出張理事会の開催場所は兵庫県神戸市とし、具体的な研修の内容や日程などは、今後詰めていくことにした。

#### ◆ 9 月理事会 ◆

□ 9 月 15 日、組合事務局 □

11 月の出張理事会は 11、12 の両日の日程でダイヘン六甲事業所(兵庫県)の工場、Eーディフェンス耐震工学研究センターなどを見学、翌日は希望に応じてゴルフ、姫路城などの観光を行うスケジュールを決め、今後、参加者を募集することになった。また、「リポート東構協」は、賀詞交歓会参加者に配布、HP にも掲載し、組合活動の周知を図ることにした。東・西地区会もそれぞれ、11 月に開催予定とした。

#### ◆ 10 月理事会 ◆

□ 10 月 20 日、組合事務局 □

建設業の特定技能 1 号の業務区分が再編された内容を紹介。また、製造業として特定技能受け入れ可能な事業所の産業分類やその該当可否の判断基準など調査結果を報告した。審議事項として同組合の前身である東京鉄構工業会(1973 年 3 月 7 日発足)が、来年に発足 50 年を迎えることから、記念行事の実施について協議。運営委員会を設置し、前田茂昭副理事長(前田製作

所社長)らが中心になって設営や費用、招待者を含む参加者など固めていくことになった。

#### ◆ 11 月出張理事会 ◆

□ 11 月 11 日、ダイヘン六甲事業所 □

兵庫県神戸市のダイヘン六甲事業所と三木市の兵庫耐震工学研究センターで見学研修を実施した。ダイヘン六甲事業所見学後、会議室で理事会を開催し、前理事長の「故飯田敏樹氏を偲ぶ会」や創立 50 周年記念について審議。その後、兵庫耐震工学研究センターに移動、実大三次元震動破壊実験施設「Eーディフェンス」などを見て回った。



▲東京出張理事会  
Eーディフェンスの施設を視察した佐藤直

#### ◆ 11 月理事会 ◆

□ 11 月 22 日、組合事務局 □

審議事項では、①故飯田敏樹氏を偲ぶ会②創立 50 周年に係る行事③リポート東構協第 32 号発刊などを協議。創立 50 周年に関しては、来年 3 月 7 日に千代田区のアルカディア市ヶ谷で記念祝賀会を開催することに決定し、当日のスケジュールなど協議。また、1 月の賀詞交歓会の中止を決めた。

#### ◆ 12 月理事会 ◆

□ 12 月 23 日、組合事務局 □

創立 50 周年記念の開催案内の送付先などについて協議した。また、コロナ感染拡大防止の観点から 1 月の賀詞交歓会を中止し、理事会のみの開催を行う予定としているが、理事会後には協力会との懇談会を開くことにした。コロナ禍のなかにあっても協力会との関係を強化、相互の意見交換を推進していく考えに基づくもの。賀詞交歓会は、1 月 17 日にアルカディア市ヶ谷で開催する。

### 『飯田敏樹氏を偲ぶ会』

#### 組合関係者ら 35 人が参集

前理事長の飯田敏樹氏(飯田製作所社長)を偲ぶ会が 11 月 28 日、千代田区のアルカディア市ヶ谷で同組合関係者や代表世話人を務めた笑期会メンバーら 35 人を集めて執り行われた。黙祷後に故人の略歴を紹介。吉岡理事長が飯田氏の果たしてきた功績を紹介。引き続き、交流の深かった池田鉄工の池田英敏会長らがお別れのことを述べた。



## 2 年ぶりに東・西地区会を開催 業況などの情報を交換

当組合は 11 月 15 日、八王子市の「京王プラザホテル八王子」で西地区会(地区長=坂爪幸男・坂爪建鉄工業社長)、同 22 日には墨田区の「四季の蔵」で東地区会(地区長=角鹿勝保・角鹿鉄工専務)をそれぞれ 2 年ぶりに開催、いずれの地区会とも会員や協力会員ら

約 20 人が出席した。

吉岡理事長は「組合の活性化や若い人が会合に参加しやすいよう組合員の協力をお願いしたい。今後は仕事量が増加するといわれているが、鋼材などの最新情報を交換することが重要。リモートや SNS などを活用しながら交流してほしい」とあいさつを述べた。

地区会では各社の山積みや労働時間の状況のほか、鋼材価格の先行きなど

幅広いテーマで意見を交換。協力会員は製品紹介などを PR した。



### 東京鉄構工業協同組合協力会員名簿

| 役職  | 会社名                             | 〒        | 住所                                  | TEL                                 | FAX          | 代表者   | 役職       | 業種・取扱商品                      |
|-----|---------------------------------|----------|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------|-------|----------|------------------------------|
|     |                                 |          |                                     | E-mail                              |              | 担当者   |          |                              |
| 会長  | 野村産業株式会社                        | 206-0812 | 東京都稲城市矢野口786-1                      | 042-377-6369                        | 042-377-6375 | 野村 宗孝 | 代表取締役社長  | 高圧ガス、溶材機器<br>ハイテンションボルト      |
|     |                                 |          |                                     | nomura-mune@miracle.ocn.ne.jp       |              | 小林 映喜 | 所長       |                              |
| 副会長 | 富士見興業株式会社                       | 166-0003 | 東京都杉並区高円寺南1-27-11                   | 03-3314-1430                        | 03-3314-5819 | 石塚 勲  | 代表取締役社長  | 高圧ガス、溶接材料<br>機械、工具           |
|     |                                 |          |                                     | honbu@fujimikougyo.co.jp            |              |       |          |                              |
| 幹事  | 大日本塗料株式会社<br>東京営業所              | 144-0052 | 東京都大田区蒲田5-13-23<br>TOKYU REIT蒲田ビル8F | 03-5710-4501                        | 03-5710-4520 | 真鍋 育功 | 所長       | 全構協指定塗料<br>錆止め塗料             |
|     |                                 |          |                                     | nemoto-taka@star.dnt.co.jp          |              | 根本 隆史 | 主任       |                              |
| 幹事  | 株式会社アマダシナリー                     | 260-0041 | 千葉県千葉市中央区東千葉<br>3-15-32             | 043-207-5235                        | 043-207-5258 | 小宮 健夫 | 東日本ブロック長 | バンドソー用ブレード                   |
|     |                                 |          |                                     | tkomiya@amada.co.jp                 |              |       |          |                              |
| 幹事  | 大同生命保険株式会社<br>東京支社業務部           | 103-6031 | 東京都中央区日本橋小網町17-10<br>小網町スクエアビル      | 03-3272-6142                        | 03-3272-6589 | 平川 光典 | 業務部部长    | 生命保険<br>共済保険                 |
|     |                                 |          |                                     | hirakawa.mitunori@dai-do-life.co.jp |              |       |          |                              |
| 幹事  | 中村鉄興株式会社                        | 359-1164 | 埼玉県所沢市三ヶ島1-478                      | 04-2948-0610                        | 04-2949-2209 | 中村 弘美 | 代表取締役    | 切り板<br>孔あけ                   |
|     |                                 |          |                                     | ntk@viola.ocn.ne.jp                 |              |       |          |                              |
| 会計  | 有修溶工株式会社                        | 340-0833 | 埼玉県八潮市西袋2番地                         | 048-953-9895                        | 048-953-9896 | 浪花 俊勝 | 代表取締役    | スタッド溶接工事<br>材料販売             |
|     |                                 |          |                                     | stud@yu-shu.co.jp                   |              | 滝沢 健一 | 営業部長     |                              |
| 監査  | ダイニッカ株式会社<br>東京支店               | 104-0032 | 東京都中央区八丁堀1-9-5                      | 03-3552-3163                        | 03-3552-3162 | 佐藤 健一 | 東京支店リーダー | 全構協指定塗料<br>錆止め塗料             |
|     |                                 |          |                                     | K-SATOU@star.dainikka.co.jp         |              |       |          |                              |
|     | 株式会社星和                          | 121-0052 | 東京都足立区六木2-6-27                      | 03-3605-0817                        | 03-3605-3521 | 星野 傳弘 | 代表取締役    | 鋼材、建築資材<br>ボルト、ナット、仮設機材      |
|     |                                 |          |                                     | seiwa@seiwa-web.net                 |              | 北嶋 重司 | 専務取締役    |                              |
|     | 大陽日酸ガス&<br>ウェルディング株式会社<br>八王子支店 | 192-0032 | 東京都八王子市石川町2973-3                    | 0426-31-3801                        | 0426-1-3808  | 有川 貴之 | 支店長      | 高圧ガス                         |
|     |                                 |          |                                     | arikawat_gyb@tn-sanso.co.jp         |              |       |          |                              |
|     | 東京電気通信株式会社                      | 162-0065 | 東京都新宿区住吉1-19<br>サトクラ曙橋ビル            | 03-3356-9071                        | 03-3356-9354 | 遠藤 裕二 | 代表取締役    | 情報通信システム<br>NTT コミュ代理店       |
|     |                                 |          |                                     | okabe@tokyo-dt.com                  |              | 岡部 直樹 | 部長       |                              |
|     | 所沢資材株式会社                        | 359-0032 | 埼玉県所沢市若松町852                        | 04-2992-0231                        | 04-2998-0570 | 小高 進一 | 部長       | ベースバック<br>ハイベース              |
|     |                                 |          |                                     | odaka@tokoshi.jp                    |              | 佐藤 庄悟 | 主任       |                              |
|     | フルサト工業株式会社<br>神奈川営業所            | 242-0025 | 神奈川県大和市代官3-1-2                      | 046-267-5424                        | 046-268-1051 | 立岩 嵩章 | 所長       | 鉄骨副資材<br>ボルト                 |
|     |                                 |          |                                     | f0994@furusato.co.jp                |              |       |          |                              |
|     | 株式会社丸和                          | 279-0025 | 千葉県浦安市鉄鋼通り2-6-8                     | 047-304-0811                        | 047-304-0819 | 中畑 充弘 | 代表取締役    | 縞鋼板専門<br>鋼板加工                |
|     |                                 |          |                                     | maruwa.mpc@checkerplate.co.jp       |              |       |          |                              |
|     | 美鈴印刷紙工株式会社                      | 135-0033 | 東京都江東区深川2-24-11                     | 03-3643-4485                        | 03-3642-3265 | 飯島 康弘 | 代表取締役    | 印刷・原寸用フィルム<br>製造販売           |
|     |                                 |          |                                     | misuz-film-1@tokyo.email.ne.jp      |              | 佐藤 智輝 | 営業次長     |                              |
|     | 株式会社瑞穂鋼建                        | 277-0054 | 千葉県柏市南増尾1-27-14                     | 04-7173-6652                        | 04-7173-8485 | 塚田 武治 |          | スペースバック、フリードーナツ<br>ファブラス     |
|     |                                 |          |                                     | tsukada@mizuhokohken.co.jp          |              |       |          |                              |
|     | 株式会社山村                          | 372-0022 | 群馬県伊勢崎市日出町644-1                     | 0270-24-7712                        | 0270-24-9791 | 内山 直哉 | 取締役営業部長  | レーザー加工、プラズマ加工<br>ショット加工、開先加工 |
|     |                                 |          |                                     | youdan@maple.ocn.ne.jp              |              |       |          |                              |

※東構協事務局：東京都中央区八丁堀3-9-5 KSビル6階 TEL 03-5566-1595 FAX 03-5566-1597 G-mail : tsfa.office@gmail.com E-mail : jimukyoku@tsfa.jp

## 編集後記

マスク着用が常態化して足掛け4年。周りの目が気になるのか、慣れなのか、未だにマスク着用者が多い。ノーマスクがスタンダードになる日は何時。

さて、アフターコロナにおける鉄骨製造企業の在り方を考える上で、事業の業態転換等の再構築が懸案となりそ

うである。鉄骨製造企業は、「社外関係者との連携、協力が十分に出来ていない」という課題が多い。

課題克服には企業間の垣根を超えた対応が必至であり、企業連携で業界全体を底上げすることが、事業再構築のための業態転換点になりそうである。

また、「働き方改革」においても従業員が求める「働きがい」、「生産性向上」、「会社への貢献度」などについて、

企業は従業員のワークライフバランスを整えるために労働環境等の再構築も必須になりそうである。これらの問題一つひとつに丁寧な対応が鉄構業界内外から求められている。

鉄構業界に神風が吹く日は来るのか？今年はどうな年になるのだろうか。

業界ウォッチャーになろうかなあ～  
(事務局長 蓬田正則)